

新版 中学社会・学力補強 5 分間プリント

小テスト・資料の読み取り編

特 長

- ①教科書の単元に合わせて資料と問題が配列してある。
- ②原典の統計資料にあたりグラフや表を作成しているので、教科書よりも年度が新しい。

使 い 方

- (1) 授業開始と共に配付する。
- (2) 1回目はなぞり書き。
 - ①早く終わった子から、指書きをして待つ。
 - ②約半数の子が終わった時点で、音読の指示を出す。(目安は3分)
 - ③それでもまだ遅い子が追い付いていないようであれば、掲載されている資料から問題を出す。(資料と問題を線で結ばせるなど。囲みにある問題を考えさせてもよい)
 - ④たまになぞり書きがはみ出していないかチェック(隣同士・先生に見せに来るなど)をする。
 - ⑤プリントはファイルに閉じさせる。(目安は5分)
- (3) 2回目は写し書き。
 - ①答え(1回目のプリント)を見ながら解いていい。早く終わった子から、指書きをして待つ。
 - ②約半数の子が終わった時点で、音読の指示を出す。(目安は3分)
 - ③それでもまだ遅い子が追い付いていないようであれば、掲載されている資料から問題を出す。(資料と問題を線で結ばせるなど。囲みにある問題を考えさせてもよい)
 - ④たまに写し書きを間違えていないかチェック(隣同士・先生に見せに来るなど)をする。
 - ⑤プリントはファイルに閉じさせる。(目安は5分)
- (4) 3回目はテスト。
 - ①順番が入れ替わっている。何も見ないで解かせる。
 - ②3分後、隣と交換して丸付けさせる。(丸付けは自分の1回目のプリントを見て行う)
 - ③隣から返却されて間違いや空欄があれば、赤で書き込ませる。
 - ④教師に見せに来させる。全問正解でなくてもきちんと直してあれば合格とする。
 - ⑤プリントはファイルに閉じさせる。(目安は5分)

C O N T E N T S

- 1. 資料の読み取り基礎基本
- 2. 地形図の読み取り
- 3. 表の読み取り
- 4. 絵・写真の読み取り
- 5. 棒グラフの読み取り
- 6. 折れ線グラフの読み取り
- 7. 複合グラフの読み取り
- 8. 帯グラフの読み取り
- 9. 円グラフの読み取り

1 資料の読み取り基礎基本①

学習日： 月 日
得点： 点

(★印1つ20点、他1つ10点)

◎ていねいになぞり書きをしましょう。

① 資料を読み取るときは、最初にその資料のタイトルである
読んで、何の資料かを確認する。

ひょう だい
表題 を

② 次に、その資料がいつのものであるかを表している

ねん ど
年度 を確認する。

③ 資料を使用するときは、その資料が何を元に作成されたかを表す
を明記しなければならない。

しゅつ てん
出典

★④ 折れ線グラフと棒グラフは、

へん か
変化

を表すグラフである。

★⑤ 円グラフと帯グラフは、

わり あい
割合

を表すグラフである。

折れ線グラフは横軸で時間を表したいとき、棒グラフは横軸で種類を表したいときに使われます。

⑥ 順位に入らない項目の合計である

そ の た
その他

は順位に含まない。

⑦

ひょう
表

は、数値や物事を項目ごとに分類・比較したものである。

⑧ 地形図には、地図記号・方位・

しゅく しゃく
縮尺

・等高線の4つの決まりごとがある。

資料の年度を表す際に使われる単位には「年」と「年度」があります。「年」は1月から12月を表し、「年度」は4月から3月を表します。また、年度が書かれていない資料もあります。

1 資料の読み取り基礎基本②

学習日：	月	日
得点：		点

(★印1つ20点、他1つ10点)

◎空欄に当てはまる語句を書きましょう。

① 資料を読み取るときは、最初にその資料のタイトルである

--	--

 を読んで、何の資料かを確認する。

ひょう だい

② 次に、その資料がいつのものであるかを表している

--	--

 を確認する。

ねん ど

③ 資料を使用するときは、その資料が何を元に作成されたかを表す

--	--

 を明記しなければならない。

しゅつ てん

★④ 折れ線グラフと棒グラフは、

--	--

 を表すグラフである。

へん か

★⑤ 円グラフと帯グラフは、

--	--

 を表すグラフである。

わり あい

折れ線グラフは横軸で時間を表したいとき、棒グラフは横軸で種類を表したいときに使われます。

⑥ 順位に入らない項目の合計である

--	--	--

 は順位に含まない。

そ の た

⑦

--

 は、数値や物事を項目ごとに分類・比較したものである。

ひょう

⑧ 地形図には、地図記号・方位・

--	--

 ・等高線の4つの決まりごとがある。

しゅく しゃく

「表題」と「出典」と「年度」は近くに明記されていることが多いので、区別して読み取りましょう。
棒グラフや折れ線グラフの場合、「表題」の一部または全てが縦軸を表していることがあります。

1 資料の読み取り基礎基本③

学習日： 月 日
得点： 点

(★印1つ20点、他1つ10点)

◎空欄に当てはまる語句を書きましょう。

① 地形図には、地図記号・方位・ ・等高線の4つの決まりごとがある。

★② 円グラフと帯グラフは、 を表すグラフである。

③ 資料を読み取るときは、最初にその資料のタイトルである を読んで、何の資料かを確認する。

④ 次に、その資料がいつのものであるかを表している を確認する。

⑤ 資料を使用するときは、その資料が何を元に作成されたかを表す を明記しなければならない。

★⑥ 折れ線グラフと棒グラフは、 を表すグラフである。

⑦ 順位に入らない項目の合計である は順位に含まない。

⑧ は、数値や物事を項目ごとに分類・比較したものである。